

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【公表番号】特表2013-521534(P2013-521534A)

【公表日】平成25年6月10日(2013.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-029

【出願番号】特願2012-556134(P2012-556134)

【国際特許分類】

G 0 2 B	1/11	(2006.01)
G 0 2 B	5/30	(2006.01)
C 0 8 J	7/00	(2006.01)
B 8 2 Y	20/00	(2011.01)
B 8 2 Y	40/00	(2011.01)

【F I】

G 0 2 B	1/10	A
G 0 2 B	5/30	
C 0 8 J	7/00	3 0 6
C 0 8 J	7/00	C E R
C 0 8 J	7/00	C E Z
B 8 2 Y	20/00	
B 8 2 Y	40/00	

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0131

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0131】

(実施例1)

10～20重量%の官能化シリカナノ粒子を含むアクリルハードコート(Momentive Performance Materials(Albany, NY)から、商標名「UVHC1101」として得られる)が、イソプロピルアルコール(IPA)で希釈されて、35重量%の固溶体を形成した。この溶液は、その後、コーティングダイを通じて1.6ミル(40マイクロメートル)厚さのトリアセテートセルロース(TAC)フィルム(富士フィルム株式会社(東京、日本)から商標名「FUJITAC SH-40」として得られた)へと注射器でポンプ移送された。コーティングは80で乾燥され、Hバルブを備えたUVプロセッサを使用して、窒素雰囲気下で硬化され、同時に50fpm(15.25m/分)のライン速度で運搬されて、およそ2マイクロメートルの乾燥したコーティング層を形成した。2.0ミル(50マイクロメートル)ポリエステル剥離ライナー(3M Company(St. Paul, MN)から、商標名「3M OPTICAL CLEAR ADHESIVE 8171」として得られる)上に供給された光学的に透明なアクリル接着剤の1.0ミル(25マイクロメートル)の層が、TACフィルムの第2表面上(すなわち、複合物品を生成するために、ハードコートの反対側に)に積層された。複合物品のコーティングされた側は、手順1に記載されるように、ロールツーロールO₂プラズマエッチ(RIE)に、78秒間供された。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対向する第1及び第2主表面を有する偏光子と、

基材の前記第1主表面上に配置されたナノ構造化層であって、前記ナノ構造化層はマトリックス及びナノスケール分散相を含み、ランダムなナノ構造化異方性表面を有する、ナノ構造化物品と

を含み、前記ランダムなナノ構造化異方性表面は0.25%未満の反射パーセントを有する、複合物。

【請求項2】

前記偏光子は反射性偏光子又は吸収性偏光子である、請求項1に記載の複合物。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の複合物を作製する方法であって、前記方法が、

対向する第1及び第2主表面を有する偏光子を提供する工程と、

前記偏光子の前記第1主表面上に、マトリックス材料及び前記マトリックス材料内のナノスケール分散相を含むコーティング可能な組成物をコーティングする工程と、

任意により前記コーティングを乾燥させて、マトリックス及び前記マトリックス内のナノスケール分散相を含む層を提供する工程と、

前記層の主表面を反応性イオンエッティングに暴露する工程と
を含み、前記イオンエッティングが、

真空容器内の円筒形電極上に前記層を配置する工程、

所定の圧力においてエッティング用ガスを前記真空容器内に導入する工程、

前記円筒形電極と対向電極との間にプラズマを生成する工程、

前記円筒形電極を回転させて前記偏光子を移動させる工程、及び

前記コーティングを異方性エッティングして前記ランダムなナノ構造化異方性主表面を
提供する工程

を含む、方法。

【請求項4】

前記プラズマが酸素プラズマを含む、請求項3に記載の方法。